

令和7年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第2回）

議事概要

1 日時：令和7年9月11日（木）9：15～12：00

2 場所：食品安全委員会中会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（8名）五十音順

荒川 宜親 藤田医科大学医学部客員教授

磯 博康 国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局
グローバルヘルス政策研究センター センター長

小澤 正吾 元・岩手医科大学教授

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

◎眞鍋 昇 東京大学名誉教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部准教授

四方田千佳子 国立医薬品食品衛生研究所客員研究員

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から山本委員長ほか3名が、事務局から中事務局長ほか9名が出席した。

4 議事概要

（1）令和6年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

○ 令和6年度に終了した研究課題（9課題）のうち4課題の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。

○ 各委員の意見を取りまとめ、各課題の評価所見(案)を作成した上で、次回の事後評価部会で当該案の審議を行うこととなった。

<事後評価対象課題>

- ・ リスク評価のデジタル化：情報収集と解析の自動化による省力化と精度向上
- ・ 誘電泳動法を用いた細胞分離・捕捉技術の確立による Viable But Non-Culturable 状態のカンピロバクターの網羅的特性解析
- ・ 養殖水産動物における薬剤耐性指標細菌の設定及びモニタリングの試行
- ・ 食品中に存在するナノ粒子のリスク評価手法に関する研究

（2）食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の令和6年度追跡評価結果について

○令和6年10月16日に開催された研究・調査企画会議プログラム評価部会におけ

る追跡評価の結果について、事務局より報告がなされた。

－以上－

(注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)